

## 原峠保養園通信 No.2

# さくら草

令和5年6月1日

社会福祉法人 原峠保養園



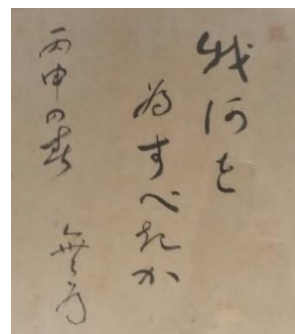
### 和田良一理事長あいさつ



例年より早い春の訪れを感じたかと思えば、寒さのぶり返しがあったりで陽気が定まらない日々が続いています。それでも着々と季節は移っていきます。

今年創立80年を迎える森の家はらとうげも、その時代時代の様々な変化を受けながら少しずつ形を変えています。求めるもの、求められているものが変化をしています。武捨施設長を先頭に、時代の波に遅れぬよう皆さんで協力しながら進んでいってほしいと願っています。

何よりもまず子どもたちのために、という思いは変わらずに持ちながら、具体的に今何をしなければならないかについては、常にいろいろなことを考え、適切な時に適切な行動をとることが大切です。まさしく創設者である松井鳳平先生のことば「我何を為すべきか」というところに立ちかえる時です。



### 武捨統括管理者あいさつ



私、武捨は上田市母子寮とともに原峠保養園の一員になって2年が経過しました。創立80周年を迎え、伝統ある法人の精神に学びつつ、時代の要請にお応えする努力して参ります。職員の皆様のお力添えをよろしくお願ひします。

さて、社会的養育分野を担当する私たちの役割について少し考えてみたいと思います。普段、私は次のように表現しています。「いのち と たから を護り(擁)り育てる」です。

ここでいう「いのち」とは、単なる「生命」だけではありません。例えば、「人権や尊厳」も含まれます。「たから」とは、大切なもの、例えば、「家族や友人」、あるいは、その人が今持っている「知識や技術」も含まれます。「護る」には、擁護するということも含まれます。「育てる」とは、まさしく「教育や支援」もあります。

私たちの仕事は、子ども一人ひとりの願いや思いに丁寧に向き合い、タイムリーで良質な支援を提供することにあります。職員や地域の方々々と力を合わせて、少しでも実現できるようにすすめていきたいと思ひます。



若葉のニホンサクラソウ(4月初旬)



満開のニホンサクラソウ(4月下旬)

4月1日(土)  
 原岫保養園辞令交付式・全体職員会議が開催されました



最初に園歌を歌い、式が始まりました



緊張の面持ちで式典出席



和田良一理事長から一人一人に辞令交付



和田良一理事長あいさつ



武捨幸雄統括管理者講話



松井幸枝相談役講話

私たちは、入所している子どもたち、母親の命を守り、育てる義務がある。どんなに子どもにウソをつかれても、裏切られても、温かい支援を提供してほしい等々武捨統括管理者から講話がありました。

園歌に出てくる松の木も、今はほとんど枯れてしまって、原岫には松の木がなくなってしまった等々、創設当時の貴重なお話をお聞きすることができました。



# 新入職員紹介



関由美子さん(森の家はらとうげ)

入職して以来、子どもたちの笑顔に日々癒されています。また、日常生活で、ふとしたことばや行動に成長を感じ、貴重な瞬間に立ち会えたことに嬉しい気持ちになることがあります。以前より、子どものメンタルヘルスや発達・成長に関心があり、施設等で子どもたちの心理面での関わりや療育、自立に向けた生活のお手伝いできればと考えていました。安心して落ち着いた環境の中で心身ともに健康に過ごせるよう、子ども一人ひとりの個性を大切にしながら、気持ちに寄り添った支援を心がけていきたいと思ひます。宜しくお願ひします。



村上恭子さん(森の家はらとうげ)

3月までは上田市内の小学校に勤務しており、今年度から心理担当して入社しました。児童福祉の現場は初めてですが、職員の皆さんのマルチタスクな働きぶりに頭が下がる想ひです。様々な事情を抱えた子どもたちが安心安全な環境で生きる力を育てることができるように、心理の視点から皆さんと一緒に力を尽くしていきたいと思ひます。アニマルセラピーを兼ね、犬を連れて出勤する日もありますが、どうぞよろしくお願ひいたします



宮下佳代さん(森の家はらとうげ)

「食事」という漢字は、「人を良くする事」と書きます。

食を通して施設にかかわる、すべての方が笑顔になれるよう、がんばりたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。



西澤百恵さん(森の家はらとうげ)

栄養士として子どもの食事づくりは初めてですが、子どもたちの嗜好に合わせて、おいしい食事やおやつを作っていくたいと思ひます。

一日も早く、仕事に慣れるよう努めてまいりたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



矢嶋宏さん(森の家はらとうげ)

東御市在住で今年54歳になります。前職では高齢者や地域の課題に対応できるネットワークづくり、住民活動の課題や支援に取り組んできました。

こちらでは、未経験で不慣れな点が多く、ご迷惑をおかけしますが、お役に立てるよう精一杯努力いたします。ご指導のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。



村上美桜さん(森の家はらとうげ)

明るく笑顔で一人一人の子どもと接することを心がけ、子どもたちが安全に楽しく生活を送れるように働きかけていきたいです。

先輩方の姿から学び、成長していきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。



小林穂乃香さん(上田市母子寮)

かねてより憧れを持っていた“人の心を支えられる”現場での仕事に携われることを大変嬉しく思っております。まだ実務経験がなく未熟な身ではありますが、日々学ばせていただきながら、一日も早く現場での仕事を身につけ、利用者さんが安心できる温かな居場所づくりを支える一員になりたいと考えております。よろしくお願ひいたします。







春休みに小諸懐古園へ。かわいい動物さんたちに、  
いやされました。☆遊園地でもきゃっきや楽しみ、久し  
ぶりに外で思いっきり遊べて大喜びでした。



5月3日、上田創造館  
へ。小学生以上の子ど  
もたちは歩いて行きまし  
た。プラネタリウムを見  
たあとは、公園でみんな  
でたくさん遊びました。  
クレヨンしんちゃんと言  
念撮影。

5月4日、ゲームセンタ  
ーへ(幼児)。乗り物に  
乗ったりクレーンゲー  
ムでお菓子をゲットし  
たり大満足の幼児さん  
でした。



4月3日 例年よりも早く桜が開花し、春休み中に上田  
公園へお花見。たくさんのきれいな桜とおいしい屋台  
を満喫し、お腹も心もいっぱい楽しめました。



5月5日 いなり寿司の作り方  
を説明してもらくと、職員さん  
に「これでいい?」と聞きなが  
ら真剣に作って、みんなでお  
いしく食べました。



5月5日の夕飯  
春巻きの皮で作った  
カブです。



5月6日 クルクルとたこやきを転がすの  
に苦戦しながらも、上手に焼けるようにと、  
みんなで頑張っていました。





## 母子生活支援施設 上田市母子寮の紹介



母子生活支援施設は1947年(昭和22年)に制定された児童福祉法に定められる施設です。児童福祉施設の中で唯一、お母さんとお子さんが一緒に生活を送る事ができる施設です。

上田市母子寮は鉄筋鉄骨コンクリート3階建ての建物で20世帯が入所できます。

現在16世帯40人の方々が生活を送られています。お母さんとお子さんが安心・安全に生活できる場を提供し、地域で自立した生活を送って頂けるよう、一緒に考え、主体性を尊重しつつ自己実現を目指せるよう支援に携わらせていただいています。

令和5年度がスタートしました。母子寮が目指す支援を明確にし、施設内外の研修等を通して職員に必要な知識や技術を習得し支援に反映していけるよう職員一同努めていきたいと思ひます。



上田市母子寮

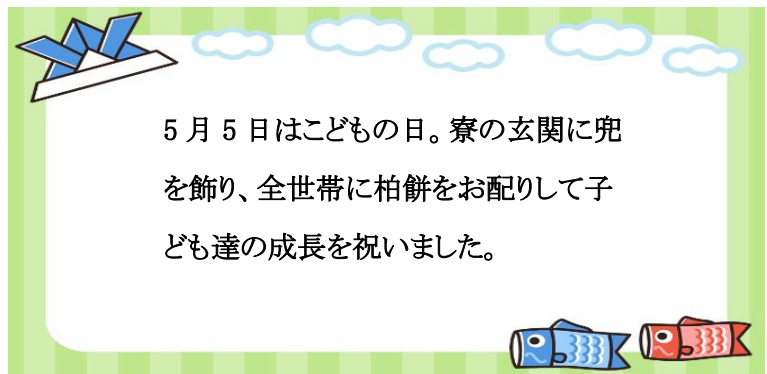
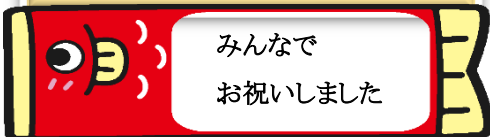
寮長 児玉 峰子



カレーライスをお配りしました



キッズサポート活動として、毎月第4土曜日に手作り弁当をお配りしています。



5月5日はこどもの日。寮の玄関に兜を飾り、全世帯に柏餅をお配りして子ども達の成長を祝いました。



## 3月21日 理事会、評議員会が開催されました

### 【主な審議内容】

#### ●令和5年度原峠保養園運営方針・事業計画

##### I 基本方針

法人の基本理念に基づき、温かく質の高い支援を提供することを通じて、「森の家はらとうげ」利用児及び「上田市母子寮」利用母子が希望をもって生きていくことができるように応援することを基本方針とする。

##### II 運営方針

基本方針に基づき、利用する児童及び母子が安心して過ごせる環境に配慮し、個々のニーズに対してタイムリーで良質な支援を提供する。このために必要な「支援の知識・技術」の向上に努めつつ、関係機関及び地域との連携をさらに充実していく。

##### III 令和5年度重点目標

- 1 施設の高機能化・多機能化の推進
- 2 原峠保養園設立 80 周年記念誌の発行と式典(森の家はらとうげの竣工記念式典を含めて)の開催
- 3 法人・施設組織体制・機能の強化と職員のキャリアアップ
- 4 入所率の向上と財政基盤の強化    5 支援体制の強化    6 公益的活動(地域貢献)の充実

#### ●職員就業規則等の改正

##### 《職員就業規則》

①部長級に統括管理者、課長職として支援調整幹等新設②管理監督者(統括管理者、事務長、支援調整幹を新設)③休日(年間休日 108 日に修正。土日、祝日、年末年始を削除)④特別休暇(夏季休暇、年末年始休暇廃止。資格試験受験のための特別休暇新設)⑤療養休暇、病気休暇新設

##### 《給与規程》

給与の適用(人事院勧告の俸給表、諸手当を適用を削除)②管理職手当、役職手当、資格手当、特別手当を新設。

#### ●令和5年度当初予算概要

森の家はらとうげの事業活動収入について、措置費収入が95%を占め、上田市母子寮においては、児童福祉事業収入がほぼ100%となっています。事業活動支出において、両施設とも人件費が8割を占めています。特に森の家はらとうげでは暫定定員が 24 人と入所児童が伸び悩むなか、今後の施設運営を見据え、職員数を増員したため、前年度に比べ人件費が23%増となりましたが、措置費収入も心理師等専門職を雇用したため、加算を多くとれたため前年度に比べ 10.3%増となりました。

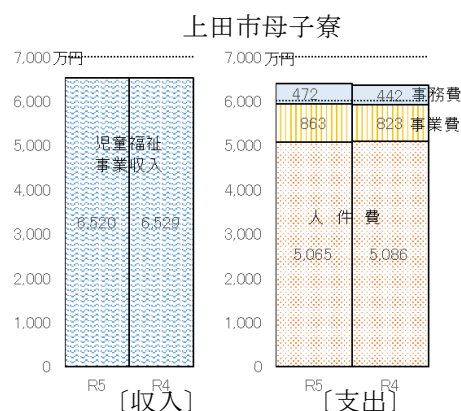
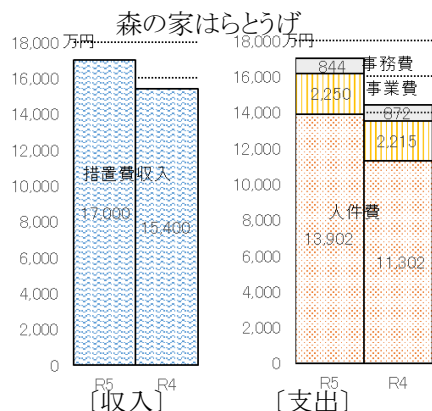
上田市母子寮については、暫定定員 19 世帯で、前年度とほぼ同様の収入支出となりました。

【森の家はらとうげ事業活動による収支】

	令和5年度	令和4年度
収入	17,869 万円	16,291 万円
補助金	220 万円	342 万円
措置費収入	17,000 万円	15,400 万円
その他	649 万円	549 万円
支出	17,030 万円	14,444 万円
人件費	13,902 万円	11,302 万円
事業費	2,250 万円	2,215 万円
事務費	844 万円	872 万円
その他	34 万円	55 万円
収入-支出	839 万円	1,847 万円

【上田市母子寮事業活動による収支】

	令和5年度	令和4年度
収入	6,522 万円	6,533 万円
児童福祉事業収入	6,520 万円	6,529 万円
その他	2 万円	4 万円
支出	6,400 万円	6,351 万円
人件費	5,065 万円	5,086 万円
事業費	863 万円	823 万円
事務費	472 万円	442 万円
収入-支出	122 万円	182 万円



### 【あとがき】

皆様のご協力により、久々に原峠保養園通信「さくら草」No.2を発行することができました。さくら草は4月になると芽を出し、4月下旬には一斉に可憐な花を咲かせます。花が散る5月下旬、シュウカイドウのたくましい緑の葉が大きくなってきて、原峠も本格的な新緑の季節を迎えます。今後、9月、12月、3月と年4回、発行していく予定ですので、よろしくお願いいたします。(T)